

アゼリヤ保育園で

とうきょうすくわくプログラムに取り組みました

1歳児・4歳児クラス



テーマ しぜん

アゼリヤ保育園の近隣には公園が沢山あり、子どもたちは散歩に行くことが大好きです。遊びの中で、空や虫、木の実などに興味を示しているのも更に遊びが深まることを目的に、しぜんをテーマとしました。

落ち葉やどんぐりを拾ってみよう！

1歳児は拾ったものを入れる専用のバッグを持って、どんぐり拾いに行きました。

葉っぱを拾っていたら、「赤い葉っぱも見つきたい」など、想いもどんどんふくらんで、回を重ねて活動の繋がりを持つことができました。

葉っぱを集めては投げて、ひらひらと舞うのを嬉しそうに観察しています！



拾ってきた葉っぱを貼って大きな木を作り、飾りました



木の実の中はどうなっているの？

4歳児は拾ってきたどんぐりや木の実の中はどうなっているのか、観察しました。かたい！と言いながらも中身を出して「おいしそう」「きれいな色！」と感想が次々に出てきました。電子黒板の拡大機能を使って、松ぼっくりを画面に大きく映し出すと歓声があがりました。



拡大して観察し、イメージを話し合いました。殻を剥いて見たり、色塗りをして園内に飾ったりしました。



活動を通して



テーマを通し、楽しい活動はもっとやってみたくなる。小さな気づきがたくさんあり、持続性もあるということがわかりました。また、園内の職員で共有することで、次に繋がるアイデアも次々に出てきて、一体感を感じることもできました。